

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公開番号】特開2005-349710(P2005-349710A)  
【公開日】平成17年12月22日(2005.12.22)  
【年通号数】公開・登録公報2005-050  
【出願番号】特願2004-173076(P2004-173076)  
【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インクを吐出するための記録部により記録媒体の第 1 の記録面と、該第 1 の記録面とは反対側の面である第 2 の記録面に記録を行うインクジェット記録装置であって、

前記第 1 の記録面の中の特定の領域に付与されるインク量に関する情報を取得する取得手段と、

前記取得手段によって取得されたインク付与量に関する情報に応じて、前記第 1 の記録面の記録が終了してから前記第 2 の記録面の記録に関わる動作が開始されるまでの待機時間を設定する設定手段と、

前記設定手段によって設定された待機時間に応じて、前記第 1 の記録面の記録に関わる動作の終了後、前記第 2 の記録面への記録に関する動作を開始させる制御手段と、

を有することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 2】

前記特定の領域は、前記第 1 の記録面の端部に沿った領域であることを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 3】

前記特定の領域は、前記第 1 の記録面の中の複数の箇所に設定された領域であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 4】

前記特定の領域は、前記第 1 の記録面における少なくとも前端および後端の各々に沿った領域であることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

【請求項 5】

前記特定の領域は、前記第 1 の記録面の左端および右端の各々に沿った領域を含むことを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

【請求項 6】

前記特定の領域は、前記第 2 の記録面への記録動作中に、前記記録部の上流側に配置した搬送手段と下流側に配置した搬送手段のうち、いずれか一方の搬送手段のみによって前記記録媒体が搬送される際に前記記録部により記録可能な領域であることを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

**【請求項 7】**

前記設定手段は、前記記録媒体の種類を示す情報と前記特定の領域内のインク付与量に関する情報とに応じて前記待機時間を設定することを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

**【請求項 8】**

前記取得手段は、前記特定の領域を複数に分割してなる分割領域の各々に付与されるインク量に関する情報を取得し、

前記設定手段は、前記複数の分割領域の各々に対応したインク付与量に関する情報に応じて各分割領域に対応した待機時間をそれぞれ取得し、前記取得した複数の待機時間の中で最も長い待機時間を設定することを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録装置。

**【請求項 9】**

インクを吐出するための記録部を記録媒体に対して相対的に走査させ、前記記録媒体の第 1 の記録面と、該第 1 の記録面とは反対側の面である第 2 の記録面とに記録を行うインクジェット記録装置であって、

前記第 1 の記録面の中の特定の領域に付与されるインク付与量に関する情報を、前記記録部の走査毎に取得する取得手段と、

前記取得手段によって取得されたインク付与量に関する情報に応じて、前記第 1 の記録面の記録が終了してから前記第 2 の記録面の記録に関わる動作が開始されるまでの待機時間を前記記録部の各走査毎に設定する設定手段と、

前記各走査終了時から前記第 1 の記録面の全域に対する記録動作が終了するまでの時間を、前記設定手段によって設定された前記各待機時間から減じることにより、前記各待機時間の残り時間を算出する算出手段と、

前記算出手段によって算出された残り時間の中の最も長い残り時間に応じて、前記第 1 の記録面の記録動作終了後、前記第 2 の記録面への記録に関する動作を開始させる制御手段と、

を有することを特徴とするインクジェット記録装置。

**【請求項 10】**

前記インク付与量に関連する情報は、前記特定の領域に記録すべき記録ドットの数を示す情報であることを特徴とする請求項 1 ないし 9 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

**【請求項 11】**

インクを吐出するための記録部により記録媒体の第 1 の記録面と、該第 1 の記録面とは反対側の面である第 2 の記録面とに記録を行うインクジェット記録方法であって、

前記第 1 の記録面の中の特定の領域に付与されるインク付与量に関する情報を取得する第 1 の工程と、

前記第 1 の工程において取得されたインク付与量に関する情報に応じて、前記第 1 の記録面の記録が終了してから前記第 2 の記録面の記録に関わる動作が開始されるまでの待機時間を設定する第 2 の工程と、

前記第 2 の工程において設定された前記待機時間に応じて前記第 1 の記録面の記録動作終了後、前記第 2 の記録面への記録に関する動作を開始させる第 3 の工程と、

を有することを特徴とするインクジェット記録方法。

**【請求項 12】**

インクを吐出するための記録部を記録媒体に対して走査させ、前記記録媒体の第 1 の記録面と、該第 1 の記録面とは反対側の面である第 2 の記録面に記録を行うインクジェット記録方法であって、

前記第 1 の記録面の中の特定の領域に付与されるインク付与量に関する情報を、前記記録部の走査毎に取得する第 1 の工程と、

前記第 1 の工程において取得したインク付与量に関する情報に応じて、前記第 1 の記録面の記録が終了してから前記第 2 の記録面の記録に関する動作が開始されるまでの待機時間

を前記記録部の各走査毎に設定する第２の工程と、

各走査終了時から前記第１の記録面の全域に対する記録動作が終了するまでの時間を、前記第１の工程において設定された前記各待機時間から減じることにより、前記各待機時間の残り時間を算出する第３の工程と、

前記第３の工程において算出された残り時間の中の最も長い残り時間に応じて、前記第１の記録面の記録動作終了後、前記第２の記録面への記録に関する動作を開始させる第４の工程と、

を有することを特徴とするインクジェット記録方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

すなわち、本発明の第１の形態は、インクを吐出するための記録部により記録媒体の第１の記録面と、該第１の記録面とは反対側の面である第２の記録面に記録を行うインクジェット記録装置であって、前記第１の記録面の中の特定の領域に付与されるインク量に関する情報を取得する取得手段と、前記取得手段によって取得されたインク付与量に関する情報に応じて、前記第１の記録面の記録が終了してから前記第２の記録面の記録に関わる動作が開始されるまでの待機時間を設定する設定手段と、前記設定手段によって設定された待機時間に応じて、前記第１の記録面の記録に関わる動作の終了後、前記第２の記録面への記録に関する動作を開始させる制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

本発明の第２の形態は、第１の記録面と、該第１の記録面とは反対側の面である第２の記録面とに記録を行うインクジェット記録装置であって、前記第１の記録面の中の特定の領域に付与されるインク付与量に関する情報を、前記記録部の走査毎に取得する取得手段と、前記取得手段によって取得されたインク付与量に関する情報に応じて、前記第１の記録面の記録が終了してから前記第２の記録面の記録に関わる動作が開始されるまでの待機時間を前記記録部の各走査毎に設定する設定手段と、前記各走査終了時から前記第１の記録面の全域に対する記録動作が終了するまでの時間を、前記設定手段によって設定された前記各待機時間から減じることにより、前記各待機時間の残り時間を算出する算出手段と、前記算出手段によって算出された残り時間の中の最も長い残り時間に応じて、前記第１の記録面の記録動作終了後、前記第２の記録面への記録に関する動作を開始させる制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

本発明の第３の形態は、インクを吐出するための記録部により記録媒体の第１の記録面と、該第１の記録面とは反対側の面である第２の記録面とに記録を行うインクジェット記録方法であって、前記第１の記録面の中の特定の領域に付与されるインク付与量に関する情報を取得する第１の工程と、前記第１の工程において取得されたインク付与量に関する情報に応じて、前記第１の記録面の記録が終了してから前記第２の記録面の記録に関わる

動作が開始されるまでの待機時間を設定する第２の工程と、前記第２の工程において設定された前記待機時間に応じて前記第１の記録面の記録動作終了後、前記第２の記録面への記録に関する動作を開始させる第３の工程と、を有することを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１８】

本発明の第４の形態は、インクを吐出するための記録部を記録媒体に対して走査させ、前記記録媒体の第１の記録面と、該第１の記録面とは反対側の面である第２の記録面に記録を行うインクジェット記録方法であって、前記第１の記録面の中の特定の領域に付与されるインク付与量に関する情報を、前記記録部の走査毎に取得する第１の工程と、前記第１の工程において取得したインク付与量に関する情報に応じて、前記第１の記録面の記録が終了してから前記第２の記録面の記録に関する動作が開始されるまでの待機時間を前記記録部の各走査毎に設定する第２の工程と、各走査終了時から前記第１の記録面の全域に対する記録動作が終了するまでの時間を、前記第１の工程において設定された前記各待機時間から減じることにより、前記各待機時間の残り時間を算出する第３の工程と、前記第３の工程において算出された残り時間の中の最も長い残り時間に応じて、前記第１の記録面の記録動作終了後、前記第２の記録面への記録に関する動作を開始させる第４の工程と、を有することを特徴とする。